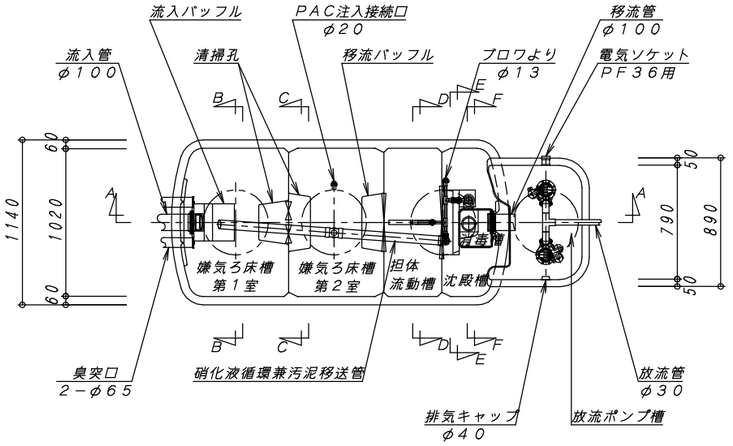
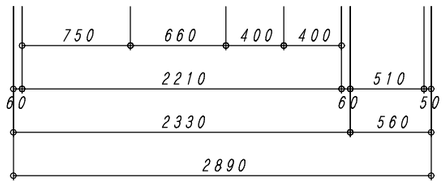
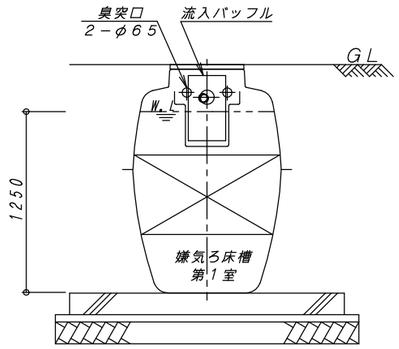
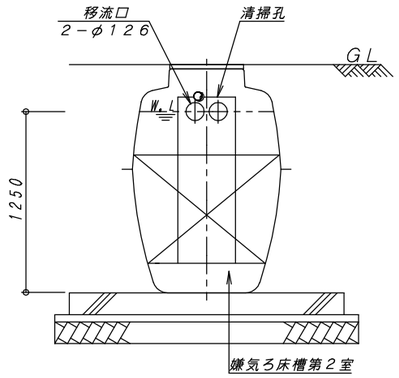




平 面 図 1:30



B−B 断 面 図 1:30



C−C 断 面 図 1:30

建築基準法第68条の25第1項の規定に基づき、同法施行令第35条
第1項の大臣認定による嫌気ろ床担体流動循環方式にリン除去装置を加えた方式

型式認定	認定番号	5−23K−H−002
	認定年月日	令和5年10月1日
型式適合認定	認定番号	型01Caa0a0054586
	認定年月日	平成31年1月9日

型 式	ダイエー浄化槽 FDP5型
処理対象人員	5人
日平均汚水量	1.0m³/日
流入水質	BOD200mg/L SS160mg/L T-N45mg/L T-P5mg/L
放流水質	BOD 10mg/L SS 10mg/L T-N10mg/L T-P1mg/L

容 量 表

項 目	設 計 容 量
嫌気ろ床槽第1室	0.775 m³
嫌気ろ床槽第2室	0.739 m³
担体流動槽	0.457 m³
沈殿槽	0.352 m³
消毒槽	0.023 m³
総容量	2.346 m³
放流ポンプ槽	0.051 m³

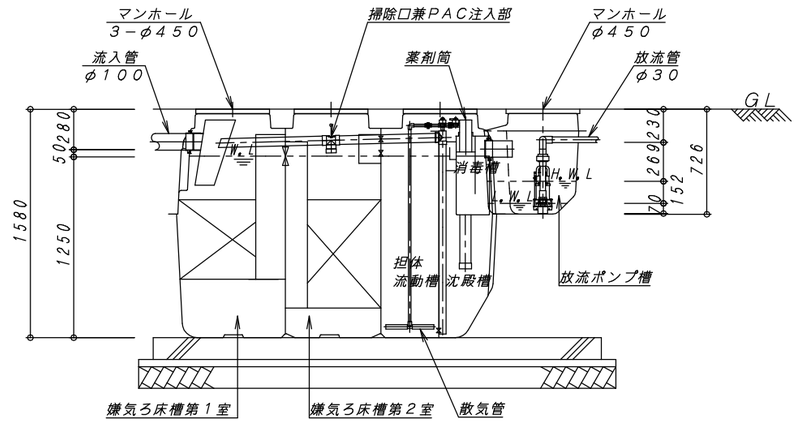
機器仕様表 (単相・100V)

機器名	口 径	入 力 (50/60Hz)	吐出量 (50/60Hz)	台 数
ブロワ	φ13	35W以下	0.06 m³/min	1台
リン除去装置	φ4×φ9	5~6W以下	8.5 ml/min	1台
放流ポンプ	32A	130W以下	0.08 m³/min	2台

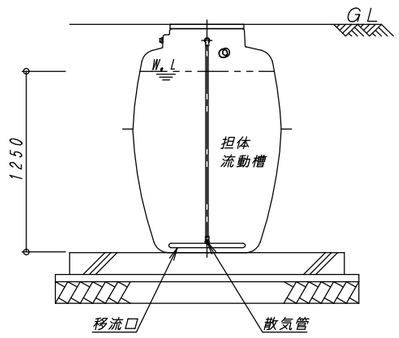
放流ポンプ槽排気管について

下記の処理を怠ると、浄化槽内で発生する塩素ガス等が浄化槽内および電線管の接続先付近に設置している機器類を腐食させて、機器の破損、故障を生ずる恐れがあります。
注1) 放流ポンプ槽の排気管は必ず接続して下さい。
注2) 排気管の放出先は、側溝の最大水位より上に設置して下さい。設置位置の目安は側溝の最大水位より100mm以上、上部とします。
注3) 排気管は途中で水たまりが出来ないように、適切な勾配で配管して下さい。
V字配管で、配管内が水たまりで水封されると排気管の設置効果がなくなります。
注4) 電線管の両端は、シリコンまたはパテ等でコーキング処理を必ず行って下さい。

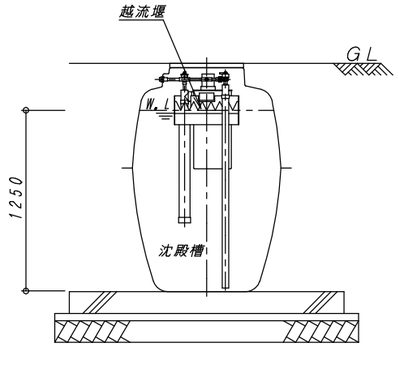
※管理用水栓は10m以内に設置すること(浄化槽工事範囲外)



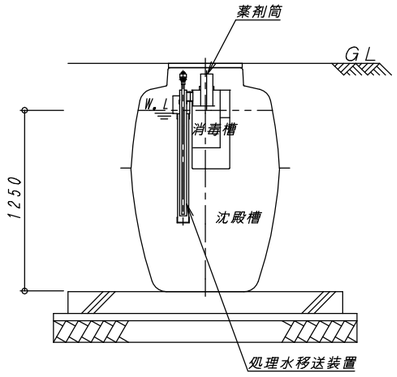
A−A 断 面 図 1:30



D−D 断 面 図 1:30



E−E 断 面 図 1:30



F−F 断 面 図 1:30

No.	内 容	日 付	担当者	承 認	備考：寸法は内寸法とする。
1	型式認定更新	R5.10.1	明 壁		
△					
△					
△					

承認	検図	設計	製図
	間瀬	中西	中西

DAIE 大栄産業株式会社

ダイエー浄化槽 FDP5型
構造図 (放流ポンプ槽付)

図番	FDP5H
縮尺	1:30
日付	R5.10.1

REV 1